



品質不良を防ぐための取り組みとは？ ～製品を購入・調達する前に実施すべき品質検証～

製品を導入・購入する際に、充電による過熱、外部ディスプレイの異常表示、不安定な接続性、高い故障率などに直面した経験はありませんか。
アリオンは、故障を繰り返すトラブルを解消するために、さまざまなユーザーリポートで起こりうる潜在的な問題を特定し、購入した商品の品質を確認するための検証項目を提案することが可能です。



受入担当者や調達担当者などは必見！



購入したHDMIケーブルに問題発覚。 でも原因を特定できない？

ケーブルは信号ソースとディスプレイをつなぐ繋ぎ橋の役割を果たしていますが、長さが長くなるほど信号が減衰しやすくなります。特に、現地のトレンドとして重視されている8K/10K解像度のケーブルは、信号伝送速度が速い反面、減衰もより深刻です。ケーブルの断ちを維持するために、チップを介して信号を最適化することで、長さを抑制することもできます。このタイプのアクティブケーブルの品質は、チップ上のPCB基板に大きく関係しており、特にその中でも重要なポイントの1つが、インピーダンス制御です。

インピーダンスに影響を与える要因は多く、設計や素材の選択だけでなく、加工過程でも適切に制御しなければ、弊害は広い範囲内にインピーダンスを抑えることはできません。加工がインピーダンスに影響を与える可能性のある要因は次の通りです。

**インピーダンスに影響
を与える要因を確認**



過熱する可能性のあるUSB充電ケーブルを 購入しないための方法とは

USB充電の普及に伴い、潜在的なリスクを徐々に浮上してきました。その中でも主要なリスクの1つは、充電ケーブルや充電器の品質問題です。過熱、過充電、ショートなどにより、デバイスの損傷や火災の原因になります。

アリオンのテスト経験と観点から見ると、製品が出荷される前に以下の2つのテスト項目を実施すれば、受入担当者や調達担当者などは、USB充電ケーブルを導入・購入する際に、わずかな費用をかけるだけで、製品品質を確保でき、エンドユーザーが過熱による火災のリスクを心配する必要がなくなり、充電ケーブルの品質を効果的に確認できます。

**おすすめのテスト
項目をすぐ見る**



徳島の「学校タブレット端末故障問題」に みる、品質検証の重要性

急激に進む教育の情報化の波に、タブレット端末は教育現場に欠かせない存在になりました。各国の教育機関はタブレット端末を大量に購入し、生徒のタブレット端末使用率が高まることで、全体的な教育の質を向上させることが期待されます。

アリオンは、品質検証コンサルティングサービス分野で30年以上の経験を持ち、さまざまな電子製品の技術仕様や品質要件に豊富なノウハウがあります。電子製品を調達する際には、調達書や入札書に技術仕様書、品質要件、出荷物の受け入れ基準検査規定を、各国の政府や企業に対して支援することが可能です。

徳島県のタブレット事件を例として、アリオンは3段階の受入テストを提案します。

**品質検証の専門家
による取り組みとは？**

[Follow on Facebook](#)

[すぐ相談
お問い合わせ](#)

本メールは過去当社にお問合せをいただいた方や名刺交換をさせていただいた方に送信しております。メール配信が不要の場合、お手数ですが下記リンクにて配信停止の処理をお願いいたします。

\$(UNSUBSCRIBE_EN)